

挽回のためにある失敗（士師 16:28-31）

サムソンはデリラの誘惑をかかわして勝利していたのですが、最後に自分の力の源をあかしてしまい、髪の毛を切られて、力を失ってしまいます。ペリシテにつかまって、臼をひく奴隷になっていたのですが、再び髪の毛が伸びはじめ、ダゴンの神にささげるいけにえの祭りで多くのペリシテ人が集まっていたときにペリシテ人とともに死ぬため、力を求めて祈り、柱を倒すことによって、生きていた間に殺したペリシテ人より多くのペリシテ人を殺し、自分も死んでしまいました。このようなサムソンの人生ストーリーを通して、現場灯台の私たちは、どのようなメッセージを握るべきでしょうか。

まず、**信者でも失敗はありう**ということ。失敗を合理化したり、正当化してはならないのですが、聖書の人々にも失敗はありました。アブラハムはエジプトに行き、自分を守るために奥さんを売る失敗をしました。ヤコブはひ



とりの女性のために何十年もささげ、モーセは人殺しをして逃亡者となり、ダビデは人の奥さんを奪いました。ペテロはイエス様のことを3度も否定してのろいました。失敗のかたちは人間関係、経済、健康、結婚、家庭環境など、さまざまですが、いくらでも失敗はあります。失敗の要因は、人、環境、というわかりました、まわりのなにかと言いますが、ほんとうの要因は「サタンのしわざ」であることを覚えましょう。デリラではなく、裏にペリシテの策略がありました。しかし、そこで終わるのではなく、その失敗は神様の許可なしには起きないことを知しましょう。ですから、イエスを信じる者の失敗は、失敗に終わることはなく、それで終わる必要もないのです。

まず、信者の失敗の理由を正しく知り、心から

認めるようにしましょう。サムソンが失敗したのは、デリラのせい、ペリシテのせいと言えますが、髪の毛が切られたことが理由です。それはつまり、キリストを手放したからです。**信者の失敗の理由は、キリストを手放したか、思いが離れたかです。**なにかのせいにしては、挽回することはできません。本当の理由を認めるとき、**信者の失敗は、キリストを徹底的に回復するために必要な過程**だということがわかります。神様が心を痛めつつ失敗を許されたのは、イエスの信者がキリストに徹底的になることのためです。それより大切なことではないので、失敗を許されるのです。それまで

告白していたキリストとはまたちがって、オンリーキリストとなるためです。すべての世の理論、良心、ルールを越えて、なにがどうでも絶対的にオンリーキリスト、譲れないキリスト、いのちがけのキリストとなるためのものです。これが失敗の本当の理由です。一度限りの人生を尊い輝く人生にするために、神様はいのちがけの、当然のオンリーキリストとさせられます。優先して、常に、真っ先にキリストとなるように、失敗を許してまで、徹底的にオンリーキリストとされるのです。

そのようにして、**神様は信者ひとりひとりに新しい人生の歴史を書き下ろそうとされます。**実際はいやされ、なにも問題にならないサミットに立つ人生にするために、神様がなさるのです。イエス様よりも大きなわざを行い(ヨハネ 14:12)、悪霊を追い出し、イエスの名によって悪霊を追い出し、新しいことばを語り、蛇をもつかみ、たとい毒を飲んでも決して害を受けず、また、病人に手を置けば病人はいやされる(マルコ 16:17-18)ことができる唯一の存在としての新しい人生を歩むことを願ってお

られます。そのために、大前提としていのちがけのオンリーキリストになるようにされるのです。神様は、だれもできないことをする人生の歴史を新たに書き下ろそうとされます。エルサレムから地の果てにまでと言われたとおり、私たちのいるところから、日本 47 都道府県、237か国に至るまで証人とならせてくださいます。徹底してキリストオンリーになって、サタンの王国に大ダメージを与える新しい人生の歴史を書き下ろすために、失敗を許されるのです。オンリーキリストとなり、聖霊の力によって聖なる人生をまっとうして、正しい祈りの人として新しく生まれ変わるようにしてくださ

います。ですから、**どんな失敗も、ハンドルをキリストオンリーに回しましょう。**そのために、普段から心と精神のハンドルをキリストオンリーに回す習慣を身につけましょう。完全で十分な祝福の中に身をささげ、いちばん安全なところに自分のすべてを入れるのです。完備な十字架、キリストの祝福の中に入りましょう。神様が新しい人生を書き下ろしてください、残りの人生はサタンの王国にダメージを与える挽回の人生になるように祈りましょう。

(<http://jremnant.com> に音声と動画が出ています)

士師記 16:28-31 挽回のための失敗

なるほど/信者にも失敗はあるが、信者の失敗は失敗で終わりではなく、キリストを徹底的に回復する過程になり、神様自ら信者の新たな人生の歴史を書き下ろそうとして許されたことである。

ならば/どんな失敗でもハンドルをキリストに向けて回し、その中にある完全な祝福に向かって自分を捧げよう。神様が私の人生に挽回の新たな歴史を書きおろすことを期待しよう。

インマヌエル教会聖日メッセージ祈り文（2019年10月6日）

1部礼拝：最後のインターンシップ現場（Iサム 17：41-47）

ダビデのような人物を育てる霊的士官学校を作って、No Body 作品、人生のターニングポイント、霊的医者、主の霊に感動された者を育てる最後のインターンシップをするようにしてください感謝します。ダビデのように羊飼いをする現場で世界化を学び、王の素質を備えたレムナントを育てますように。事件の中でも契約を握って神様の御前に立ち、理由を告白できるレムナントを育てますように。主は私の羊飼い、私の避け所、私の岩だと告白しながら、人を生かす大きな人物を育てますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。

2部礼拝：最高の答えの中にいる者（マコ 1：1-8）

牧師先生たちと主のしもべが伝道するように祈って献身しているのか、私の人生を振り返るようにしてください感謝します。奴隷、捕虜、属国から国と次世代を生かす主のしもべたちを立てる最高の答えの時間を味わいますように。主の道を準備して、神様に戻る悔い改めの福音を正しく伝えて、原色福音を伝える主のしもべに仕える最高の答えの張本人になりますように。もっとも重要なことをする主のしもべたちを助ける最高の答えと新しい神殿の主役として、すべての人生を回復しますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。